







謹奉建言卑賤、某過當ナリト、臣に癸丑米

利堅渡来ノ節身ヲ軍陣ニ投シ

御國恩ニ較セントス既ニシテ和親トナル俄羅斯

蝦夷地併吞ノ形勢傳兼蝦地ニ住居スル十三

年土地山脈水路分見土性善惡海草魚漁其他

産物多少ヲ探究シ御開拓ノ伎旧幕府ヨリ

引續キ建白數度既ニ當春建言ノタメ上京シ

又歸府道路ノ説左ノ事件ヲ傳兼井蛙ノ管

見奉申上候

方今形勢見聞スルニ外國人ノ狡猾言フヘカラス

而虎ニ鉗ノ計策ヲ投レ同種族ニテ戰ハシメ我

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈



貨竭力屈スルヲ待テ種々ノ難題ヲ以テス彼今我  
疲弊人心反復スルヲ窺ヘ債ヲ償フノ催促アリ  
ト雖也

王政御維新ノ際新ニ和親御取結ニナリタレハ彼  
今俄然催促スルハ彼ノ曲ナルヘシ期限ヲ延シ融通  
富國諸價公平萬姓救助ノ策ヲ行ハ諸炭ノ地  
ヲ削賤セス百姓ノ稅ヲ増サス用金取ラス年々大凡六百万兩  
ノ利益アリ之ヲ以テ第一條ノ債ヲ償フハシ

### 第二條

即今世上一般惡金銀流通シ貿易ノ間此惡金外  
國ノ手ニ落テ高凡正金三千萬兩ニ及テ之ヲ良金

ト引換ユルカ又ハ其損モヲ償フカトイヘリ此金大凡六  
百万兩ナリ之ヲ辨スルノ道如何ト管見ヲ以テスレハ曲  
彼ニアリ如何トナレハ是マテ我  
皇國ノ良金ヲ密々ニ倍ニ買取り既ニ民間ニ徴セハ  
三倍ニ買ヘリ銅錢一倍半ヨリ二倍三倍ト買取り  
二分金一分銀當百錢鑄造シ我良金銀銅錢銅  
鐵實用諸品買入リ能ク衆人ノ知ル所ナラスヤ  
三千万兩ハ彼ノ製造ナルヘシ如何トナレハ彼ハ舍密  
術ヲ究ムレハナリ若我產ナレハ惡金ノ價ヲ以テ  
品物ノ價高直ナレハ償フヘキ道理之ナカラカ若應  
接ナラスニハ漸々年賦ヲ以テ償フヘシ貨幣司長



岡何某ナル者悪金製造スル趣道路ノ説ニ有レハ  
之ヲ罰シ富國強兵ヲ待テ良金銀トナスヘシ方今外  
國人ヨリ一千万弗ヲ借リテ悪金銀ヲ良金銀ニ鑄造  
スルノ説アリ恐ラクハ良金銀ハ皆外國ニ運輸シ猪幣  
ト債ノミ

神州ニ残ラレ貨竭キ多債ナルハ智者アリト虽  
比其後ヲ如何センカ

外国交際ノ伎ニ付國辱ヲ洗淨スル問題十七條傳兼  
仕候處開鎖ニツニ過ス即今鎖港セントセハ彼兵カラ  
以テ迫リ彼ト戰争セントセハ我兵力器械微ニシテ金  
穀乏シ加之異議ヲ起ス者アラハ必勝ノ利ホカラシ

然ト虽比彼レカ請トコロニ随從セハ棄ハスニハ憂食トヲ知  
ラス終ニ我堂々タル

神州ノ國脈断絶スルニ至ラシカ即今形勢井蛙ノ  
管見ヲ以テスルハ西洋学ニ惑スル者ハ開港ヲ主  
張シ一港モ多キヲ以テ盛ニナリトス方今

皇國ニ外國人開港スルハ港ナリ所謂碁盤ノ八目  
ナリ五大洲ニモ如是ヲ開カス蝦夷地ニ於テハ猶甚  
シ加之土地公見海岸測量セリ今我諸侯ハ東西ニ  
奔命シ後必疲弊セシ其比彼ノ難題ヲ主張シ兵  
カラ以テ開港ノ地ヲ棄領スルハ防禦ノ策窮迫セ  
シカ然レ比交際ノ伎ハ



朝廷ヨリ新ニ御許容アレハ今又鎖港セハ彼直ニシ  
テ曲我ニイリ鎖港ナラサル所ナリ然レモ東京府大坂府  
ハ鎖港センコトヲ懇願ス若鎖港ナラズンハ和親信義大坂府  
ハ我咽喉東京府ハ胃中ナリ咽喉ヨリ胃ニ入ラントスル  
ヲ傍人ニテ取リ胃中ニテ乳ヲ醸サントスルヲ吐サシメハ  
疲労セシハアラス故ニ支體不仁ス濟救セシハ國體殆  
危篤トナラシコトヲ濟救セント欲セハ商人ノ外国人トノ  
直傾易スルコトヲ制禁スヘシ如何トナレハ高ハ己カ欲心  
ニ惑シ我愛娘モ外夷ニ送り彼ト俱ニ利ヲ計ル況ヤ  
國家ノ害ヲ論スヘケンヤ外国人ノ町家ニ雜居ヲ制  
禁スヘシ清ノ大國モ洋人雜居スルコト四十年終ニ國家

ヲ慕棄セラレ如何トナレハ彼カ狡猾言フヘカラス我  
商人ト俱ニ奸商シ締賞締賣シ未熟セサルノ綿或ハ  
油等ヲ買ヘリ故ニ油ノ直段大ニ沸騰セリ彼實金銀  
ヲ鑄造レテ  
自王國ニ充滿セリ故ニ和漢ヲ主張スル者ハ鎖港セ  
ントス然レモ己ヲ知りテ彼ヲ知ラス西洋ノ道ヲ主張  
スル者ハ彼ヲ知りテ己ヲ忘スル彼ヲ知り己ヲ知ル者ハ  
勝算多キハ勝算少キハ勝算然レモ況ヤ算ナキ  
ニ於テア方今ノ形勢開鎖何レモ富國強兵セシハ  
アラス彼カ輕侮ヲ雪コントセハ某皇大神宮上捧シ富國強兵論アリ竊ル  
ニ新卧ニ起ルニ膽ヲ嘗メ赤心報國忘却ナク兵ヲ



總リ武ヲ講スルニ如カス

我神道ヲ以テ日本全州ノ人民ヲ教導スルノ法

現在施スノ道アルヘシ先耶禰宗ヲ制禁シ皇國害耶

大ナルハナシ其教宗ヤ君父ヨリ尊奉シ一旦宗違フハ君父モ

歎トス故ニ外國人今

皇國ニ其宗毒ヲ流シ

神州同種族ニテ戰ハシメントス彼兵カラ以テ

皇國ニ迫リ篡奪スル一豊公朝鮮ヲ攻取スルヨリ安シ然レモ

皇國人一旦敗スルハ奮登勇戰止マズ彼篡奪スル利益ナキヲ以テ

今又新ニ兩虎ニ鉅ノ計策ヲ投ヒトス

之ヲシテ我神道ヲ方便ヲ以テ之レハ古昔ノ神代 稽補シ文字ヨリ出ルヲ表シ彼ノ鬼ヲ出

シテ愚人ヲ惑スルハ五百倍ノ顕微鏡ヲ以テス米一粒ノ

神像ヲ持スレハ五尺ノ體トナリ或家内大ナル岩石アルト

見ル蠅ノ糞ナリ余

以テ神道ノ法ヲ心學道話村落毎ニ學校ヲ建テ學 如ク校ハ宮寺ヲ用ユヘシ 教

育シ院寺ノ僧侶ヲ還俗サセ神道教授ヲ命スヘ

シ又初學童ハ必ス和學ヨリ入ルヘシ無用ノ虛文ヲ

廢スヘシ誘ニ古昔親ヲ殺ス子アリ子曰我親ヲ殺ス何人カ世話

スヘカラスト之ヲ領主惘然ナリト孝經ヲ教示ス子曰我レ

親ヲ殺ス宜罪刑法

ニ行フテラ願フ 箱館松前等ハ神道開化セズ目的

ナキカ故ニ佛法ノ三信敬ス伊勢ノ大夫

皇太神宮ノ御被ヲ配札スレハ

太神宮ハ何寺ノ宗旨ソト尋問セリ

皇太神宮ハ 神國ノ 神祖ナリト答フレハ我

家淨土真宗ニテ宗旨違エナレハ御被ハ請ス

太神宮ハ持セスト言フ是全ク教ナキ以所ナリ

神國ニ出生シ 神國人タルヲテ却テ佛ト



外異ラ信敬セリ是等ノ輩北陸道ニ數多アレハ  
教示セスンハ有ルヘカラス  
右等ノ件々宜鋪御辨解失敬多罪  
御仁免御採用奉願候誠恐誠惶謹言

巳四月

相良倭齋





